

創刊の辞

鈴木邦雄

横浜国立大学 大学院環境情報研究院長・同学府長

地球環境時代といわれる21世紀に入り、持続循環型社会の構築に向けて様々なイノベーションが進められています。未来社会を展望すると、社会システムが複雑系あるいはネットワーク型へと変貌をし、それを動かすツールは技術、情報と文化ではないでしょうか。しかも、国や自治体、企業、NPOなど様々な組織は、役割と関係性が複雑となり、目的を効率的に達成するためのマネジメントが一層重要となります。ツールとしての技術、情報と文化においても、リスク管理を行い、イノベーションを培養し継続するためには、隣接領域まで理解しながら本質を見極めた実践的対応が求められます。このような時代の背景を受けて、国内外で技術マネジメント（management of technology）領域への関心が高まっています。技術マネジメントでは、持続循環型の社会と技術のイノベーションにかかわる政策立案、事業創造、経営戦略、意思決定、組織デザイン、コミュニケーション、倫理規範、環境共生、リスク分析、事業評価等が中心テーマです。

平成13年4月に発足した横浜国立大学の新しい大学院・環境情報研究院ならびに環境情報学府では、技術マネジメント領域に焦点を当てた教官研究グループおよび教育コースが設けられています。技術マネジメント領域は文科系・理科系双方の知識・能力の融合が重要と位置づけられており、本大学院においても経済学、経営学、社会学、環境学等の学際的・複眼的な視点からの教育・研究が進められています。

この度、横浜国立大学の技術マネジメント領域の教官、研究員、大学院生を中心としたメンバーが技術マネジメント学会を組織し、『技術マネジメント研究』を創刊するのは、こうした時代の要請にこたえるべく、そしてメンバーの研究成果の一端を、広く世に問うためであります。横浜国立大学が技術マネジメントの教育・研究のメッカとなるべく、真摯に課題に取り組み、多くの研鑽を重ねていく必要がありますが、今回創刊される『技術マネジメント研究』がそのために貢献することを期待しております。